

さいたま市防災カルテ

大谷中学校区

①学区の概況と課題

◆学区の概要

- 【位置】見沼区の中央部に位置している。
- 【土地利用】学区内には住宅地が広がっており、北西部に消防署がある。
- 【交通】学区の北部に県道2号、南東部に65号が走っている。

◆学区の位置



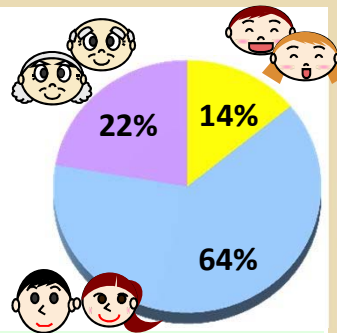
◆学区内被害想定結果

地震	さいたま市直下地震	関東平野北西縁断層帯地震	東京湾北部地震			
最大震度	6強 (6.0)	6強 (6.0)	5強 (5.4)			
最小震度	6弱 (5.8)	6弱 (5.6)	5強 (5.1)			
死者	4人 (0.0%)	3人 (0.0%)	0人 (0.0%)			
負傷者	59人 (0.5%)	46人 (0.4%)	4人 (0.0%)			
避難者	527人 (4.3%)	407人 (3.4%)	20人 (0.2%)			
全壊建物棟数	134棟 (3.5%)	98棟 (2.6%)	1棟 (0.0%)			
うち焼失棟数	49棟 (1.3%)	45棟 (1.2%)	0棟 (0.0%)			
半壊建物棟数	480棟 (12.6%)	380棟 (10.0%)	52棟 (1.4%)			
水害	荒川	利根川	江戸川	芝川等	綾瀬川等	鴨川等
床上浸水建物棟数	0棟	0棟	0棟	0棟	0棟	0棟
床下浸水建物棟数	0棟	0棟	0棟	98棟	0棟	0棟

※震度のカッコ内は計測震度を、それ以外のカッコ内は学区内の比率を示す。

◆人口概況 (平成22年国勢調査)

	大谷中学校区	全市平均
総人口	12,128人	
0-14歳	1,701人 (14%)	(14%)
15-64歳	7,724人 (64%)	(67%)
65歳以上	2,703人 (22%)	(19%)
人口密度	6,474人/km ²	5,766人/km ²

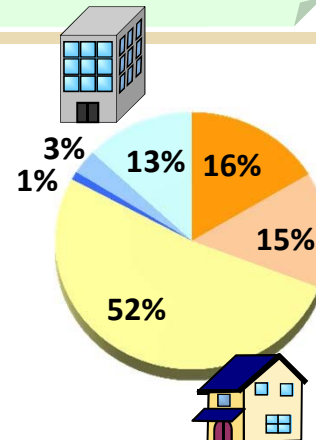


- 【地震】東京湾北部地震以外の想定地震の最大震度は6強となっているが、他の地域と比べ、相対的にはどの地震の場合でも**被害率は低い**。
- 【水害】他の地域と比べ、**相対的には浸水被害の危険性は低い**。

人口割合は全市平均とほぼ同等である。

◆建物概況 (平成23年度さいたま市都市計画基礎調査)

	大谷中学校区	全市平均
総建物棟数	3,816棟	
木造(昭和46年以前)	623棟 (16%)	(17%)
木造(昭和47-55年)	557棟 (15%)	(12%)
木造(昭和56年以後)	1,985棟 (52%)	(45%)
非木造(昭和46年以前)	39棟 (1%)	(1%)
非木造(昭和47-55年)	117棟 (3%)	(3%)
非木造(昭和56年以後)	495棟 (13%)	(21%)



全市平均と比較すると、**新しい木造建物の割合が大きい**。

◆防災関連施設情報 (平成26年2月時点)

種別	名称
避難場所	大谷中学校、大谷小学校
一時・広域避難場所	
市・区役所等窓口	
消防署・出張所	蓮沼出張所
警察署・交番	
救急病院	
応急給水場所	大谷中学校

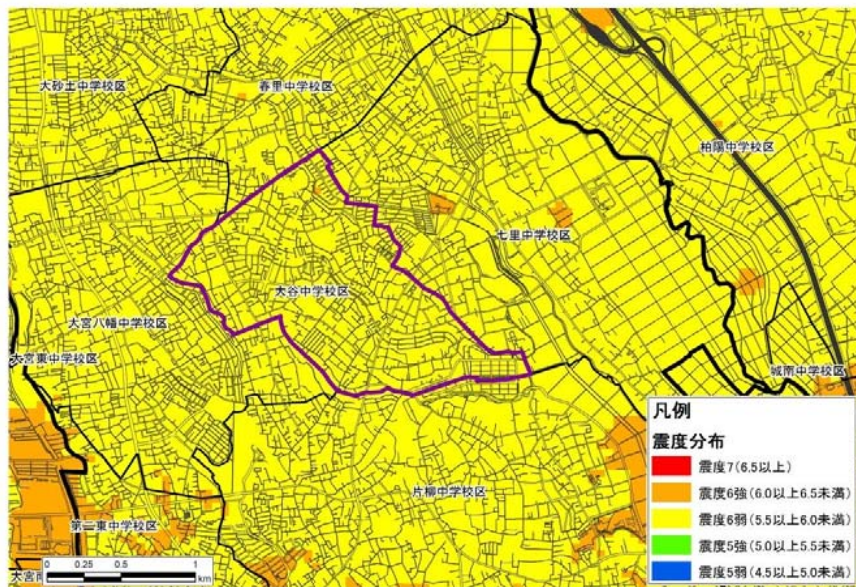
◆被害想定結果からわかる防災上の主なポイント

【その他】地区の状況や被害想定から災害の危険性が高い地区とは言えないが、被害想定は一定の仮定の下で作成したものであるため、地域の防災意識を高く維持し、個人、地域が行政と協力して着実な防災対策を行っていく必要がある。

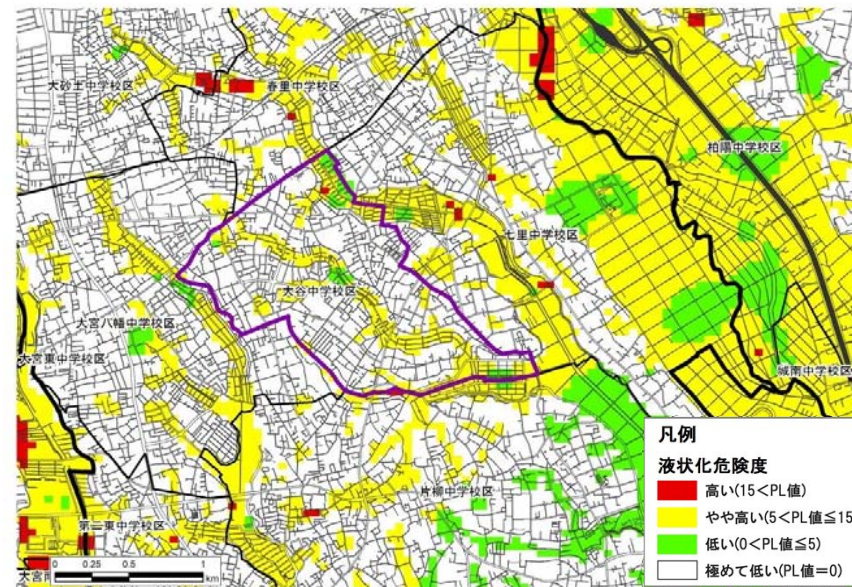
②さいたま市直下地震の想定 さいたま市防災カルテ

大谷中学校区

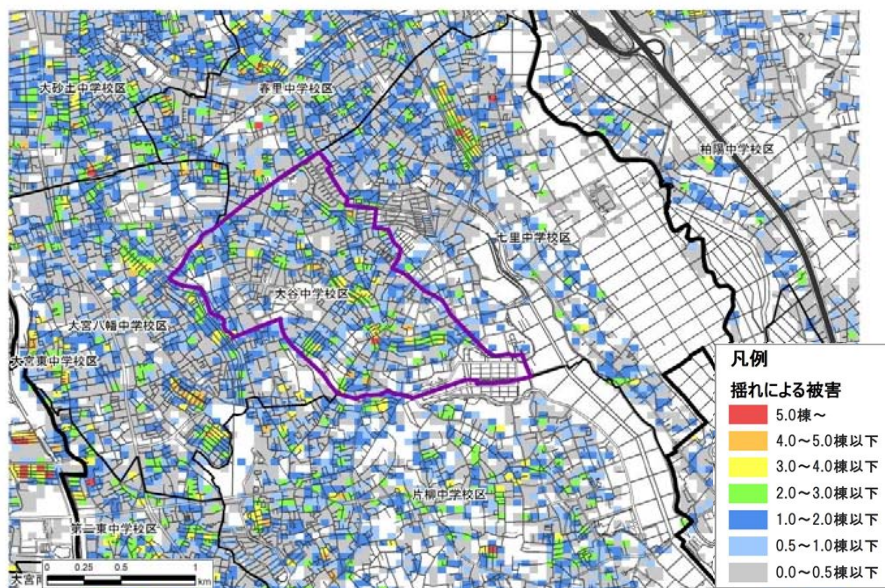
震度分布図



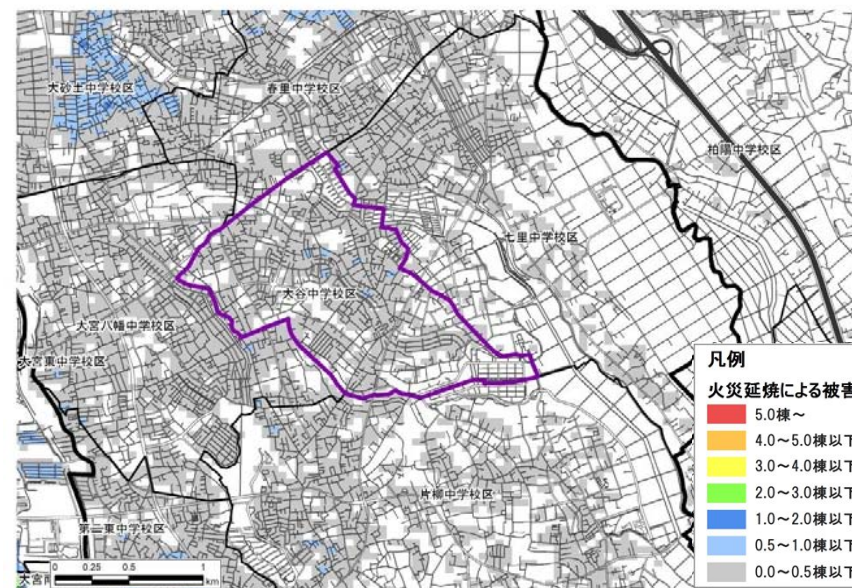
液状化危険度分布図



建物被害分布図（揺れによる被害）



建物被害分布図（火災延焼による被害）

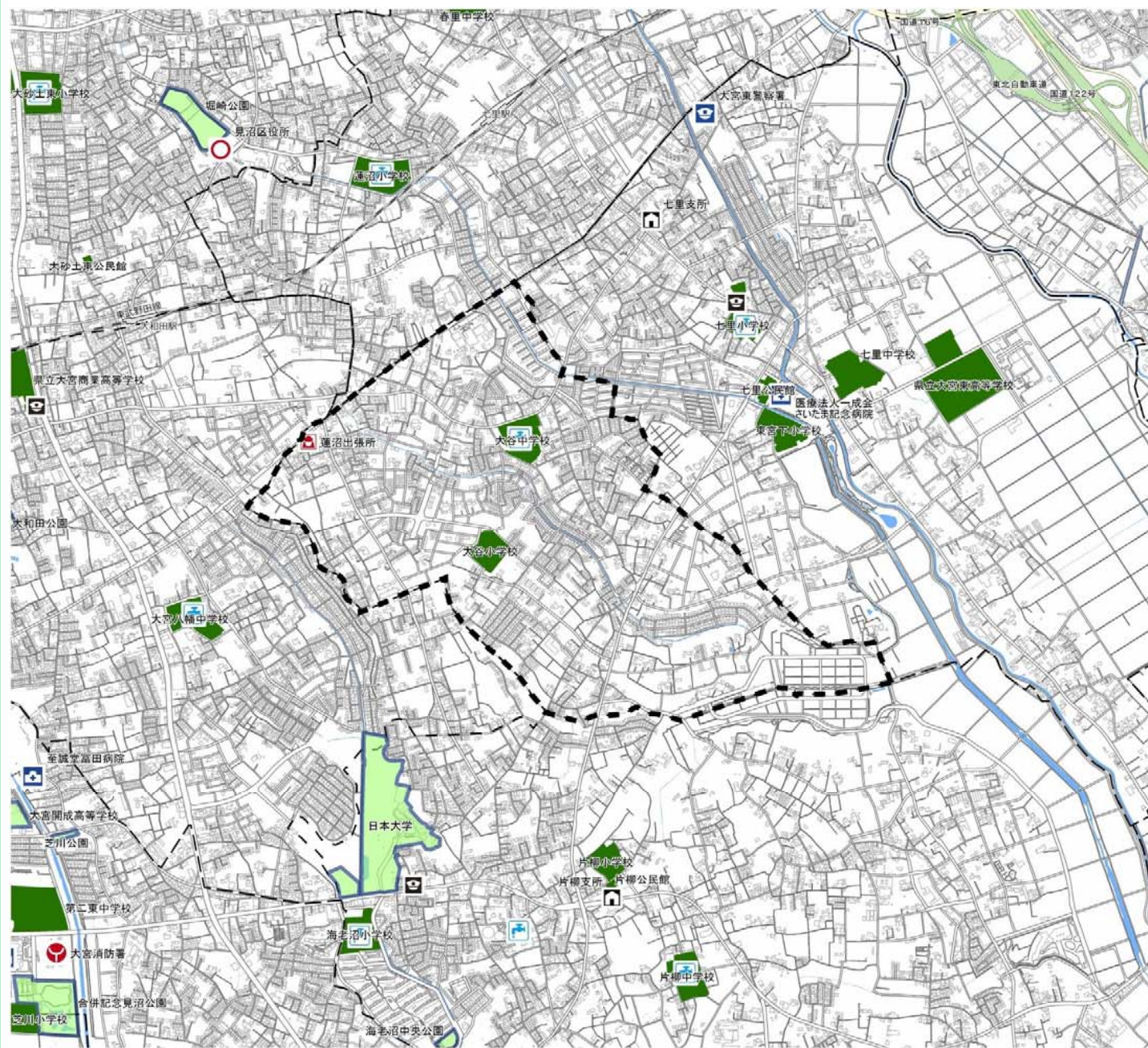


本カルテは一つの例であり、これを基に防災上のポイントや必要な対策について、家族や地域の方々と話合ってみましょう。

③防災マップ

さいたま市防災カルテ

大谷中学校区



凡例

	避難場所		消防署
	一時避難場所		消防署(出張所)
	広域避難場所		警察署
	市役所		交番・駐在所
	区役所		救急病院
	支所・市民の窓口		応急給水場所

(平成26年2月時点の情報で作成)

メモ欄

